

出張！花壇づくり講座を開催しました

令和4年3月14日（月）に、「出張！花壇づくり講座」をとりで公園で開催しました。

当日は、初夏のような陽気の中、7人の花いっぱい運動登録団体の方が参加されました。調布市おもてなしガーデンの講師をされているグリーンアドバイザーの谷村伴子さんからローメンテナンス花壇のためのポイントを教わった後で、とりで公園内の花壇で実際に作業を行いました。谷村講師の指導のもと土づくり・花苗の植付け、水やりを行い、完成した花壇を見て、近所の方々も驚かれていました。今後、花が咲いた時にどんな花壇になるのかとても楽しみです。今後の花壇の様子もお知らせする予定です。

1 手間なくできる花壇作りのポイント（当日配付資料は別紙を参照してください）

参加者の自己紹介の中で、自身の活動している花壇の悩みごとなどを共有しました。コミュニティガーデンのキーワードやローメンテナンスの花壇のためのポイントについて、講義していただきました。

【ローメンテナンス花壇のポイント】

①土壌改良②お手入れしやすい工夫③丈夫に育てる環境に合った植物を選ぶ④土が見えている面積を減らし、雑草が生えない工夫



【講義の様子】

・・・【ここからは花壇で作業しました】・・・

2 土壌改良～理想はふかふか「水はけ、水もち、通気性がよい」土～

①土の掘り返し。（スコップなどで30cmくらいの深さまで掘り起こす。）②出てきた石や瓦礫を取り除く。③（酸性土壌の場合）苦土石灰を入れ、弱酸性土壌にする。（目安：1㎡当たり150g～200g。女性の手のひらで一掴みは20g。）④有機物（腐葉土・堆肥）を混ぜる（目安：1㎡当たり5ℓ）⑤水はけが悪い場合は、バーミキュライト、パーライトなどの土壌改良剤を投入する。

土づくりが上手くいけば、花壇の60～70%成功です。



【石の取り除き】

3 お手入れをしやすい工夫

自分の手の届く範囲に植えることも大切。

手が届く範囲は50cmくらいなので、奥行きのある花壇の場合の中央に敷石や枕木で小道を作るなどして手が届くようにしておきましょう。今回は台形の広い花壇だったため、作業通路の確保のため、除草シートを敷きました。シートは植物が成長してくれば、目立たなくなります。



【腐葉土をまく】

4 植付け

植物の原産地を基本として考え、日光を必要とするもの、半日影を好むもの、水を好むものなどの特性を育てる環境に合わせて選びます。

【植物選びのポイント1】

多年草や低木で骨格を作り、植替えを減らす。多年草は環境があれば何年も生き続けるもの。ローズマリー、ラベンダー、ベアグラス、クリスマスローズなど。ローズマリーなどのハーブは香りも良く、ハーブティーなどの二次利用もでき、お得感があります。

【植物選びのポイント2】

花期の長い1年草を選ぶ。1年草は華やかで、花壇に彩りを加える役目をします。

初夏～秋：サルビア・ニチニチソウ・ペンタス・ジニアなど

冬～春：ビオラ、スノーポール、ハボタン、ストックなど

背が高くなるものを後ろに、広がって大きくなる植物は成長を想像して、花壇の端から離して中央寄りにするなど、3年後の花壇をイメージして、植物を仮置きしていきます。全体を見渡して配置を決め、植付けます。植物の肩がでないように植え、最後に土の表面を平らにならします。

5 水やり

たっぷりと水をかけます。1つの植物に10秒が目安です。

【皆さんから出た主な意見】

・腐葉土をこんなにたくさん入れることにビックリした。

・講師に直接、質問できて良かった。
・みんなで作業できて、楽しかった。

・この花壇がどんな風になるか楽しみ
・見に来ます！

来年度、開催予定！

令和4年5月16日（月）午後に、とりで公園の花壇の一部をお借りして、第2弾として「たねダンゴ作り講座」を開催します。たねダンゴとは、練った土をおだんごのように丸め、そこに種をまぶすもの。種をまく時は、花壇にぽーんと投げてまく手法で、お子さんから年配の方までどなたでも楽しんで種まきをすることができます。今回の講座では、たねダンゴを作り、近隣花壇に種をまきます。参加者には、作ったたねダンゴだんごをお土産として持ち帰ってもらい、ご自分が活動している花壇にまくこともできます。是非ご参加ください。

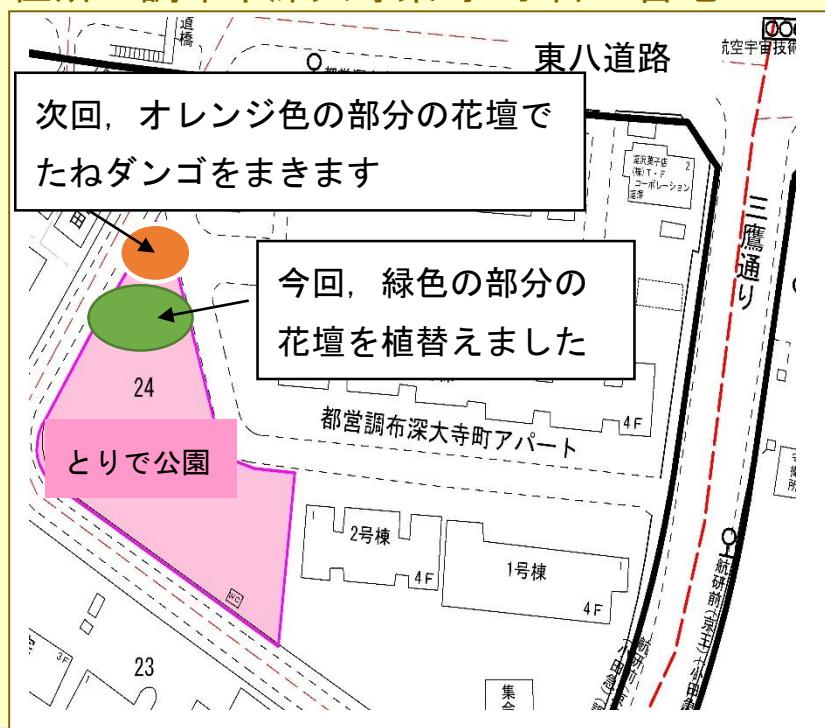
ご参加いただいた皆さま、
ありがとうございました！



【作業後の花壇】

【とりで公園】

住所：調布市深大寺東町8丁目24番地20



とりで公園の近くに行かれたら、
是非、花壇の様子をご覧ください。